

★日本発明大賞四度目の受賞!!

「分子勾配膜両面テープ」
「耐熱性分子勾配膜接着フィルム」
「メークリングル」超透明なゲル

分子勾配膜両面テープ

電子機器固定に最適

層間化学の進化

超耐ストレス接着テープ

共同技研化学株式会社
URL <http://www.kgk-tape.co.jp>

DAIHACHI

その視線の、ずっと先まで。

化学の力で環境を守ることも
私たち大八化学の仕事です。

大八化学工業株式会社

大阪本社 / 〒541-0046 大阪市中央区平野町1丁目8番13号 Tel: 06-6201-1451
東京支店 / 〒104-0041 東京都中央区新富1丁目13番21号 Tel: 03-3555-2911
ISO9001-14001 認証取得 URL: www.daihachi-chem.co.jp [大八化学](#) [検査](#)

新日鐵住金
グループ

素材を技術し、未来を拓く
For Your Dream & Happiness

NSCC

10月1日からスタートしました。

新日鐵化学から 「新日鐵住金化学」へ。

100年の歴史を持つ石炭化学。製鉄プロセスから得られる副産物を有効活用するこの事業は、限りある天然資源を最大限に活かそうとする私たちのチャレンジの歴史でもあります。「素材を技術し、未来を拓く」。あらゆる素材の高度・高効率利用を通じて地球環境へ貢献し、人々の暮らしを豊かにする製品を提供し続ける事が、私たちの目ざす企業理念であります。そして今、新日本製鐵と住友金属工業との経営統合による「新日鐵住金」の誕生に伴い、新日鐵化学は新社名「新日鐵住金化学」そして新たな一歩を踏み出します。地球とともに生きる時代。資源を大切に使い、新たな価値を生み出す化学産業への期待がますます高まるなか、私たちのさらなるチャレンジが始まります。

新日鐵住金化学株式会社 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX13F
TEL:03-5207-7600 <http://www.nssc.nssmc.com/>

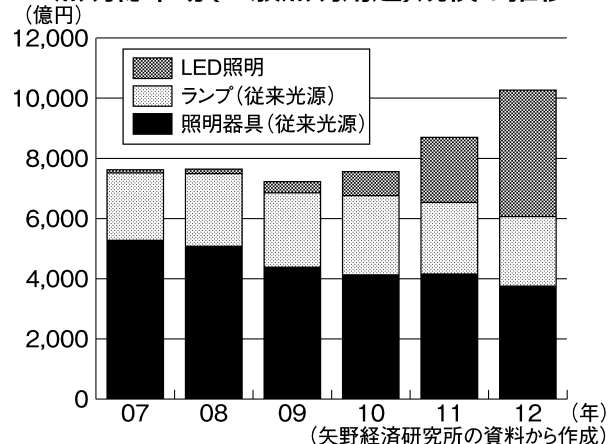
新日鐵住金化学
NIPPON STEEL & SUMIKIN CHEMICAL CO., LTD.

新たな用途展開

電子材料

LED

照明総市場(一般照明用途)規模の推移



車用ヘッドライトや
高出力向け需要狙う

信越化学工業はシリコン製のLED向け封止材と実装基板を開発した。封止材はフェニルシリコン系の従来品を改良、高い耐光性を維持しつつ、屈折率を高めた。

ここ数年、日本で一般的になった発光ダイオード(LED)照明。矢野経済研究所の調査によると、2012年のLED照明の出荷金額は4204億円と、照明総市場規模の4割を占める。一般家庭などに設置される電球型LED照明が普及したこともあり、化学メーカーでは新たな用途展開を模索している。

有機EL

いよいよ本格始動

テレビ・照明
市場活性化へ

有機エレクトロ・ルミネッセンス(EL)がいよいよ本格的なビジネスとして動き出した。スマートフォン(スマホ)向けの需要が拡大しているほか、有機ELテレビも発売された。中長期的には照明の市場本格化にも期待される。



デザイン性が多様な有機EL照明(LUMIOTECH)

新日鐵住金化学は緑色発光材料のフル生産を続けている。生産するのは発光効率の高いリン光式の材料。赤・緑・青色の光3原色の中で、従来のディスプレイでは赤色のみがリン光式。残り2色は効率面で課題を抱える蛍光式のままだった。最近になってパナソニックが緑色もリン光式に切り替えた。その際、新日鐵住金化学の発光材料が採用に至った。同社は業界に先立って赤色のリン光式材料を開発した。海外メーカーの台頭もあり苦戦していたが、先端材料への要求の高まりを受けて巻き返しに出た。JNCは年内にも水俣

製造所(熊本県水俣市)で青色発光材料などの生産能力を現状比2.5倍の月産100万個に引き上げる見通しだ。有機ELは発光材料のほか、電子輸送層や正孔輸送層などで構成される。供給先の有機ELパネルの新モデルでは、JNCの発光材料が電子輸送層など他の部材との相性が良かったこともあり、受注が増えたという。住友化学は生産性に優れた印刷技術を用いて、370μm×470μmのガラス基板上で423ppiの高解像度を実現。液滴を微細化するなどし、真空蒸着法並みの解像度を実現した。発光材料のほか、有機EL向けタッチパネル部材も含めて15年度に有機EL関連事業を年商500億円規模に育てる考え。一方、有機EL照明に着目する化学メーカーも多い。同照明は面発光で自然光に近い光を出す。設計する必要があるが、照明用途ではその必要がないため、東シの材料の強みを生かしやすい。三菱化学とパイオニアは9月に生産コストを従来の製造手法と比べて最大10分の1に低減した有機EL照明のサンプル出荷を始めた。発光層などを基板に塗布して成膜する方式により、蒸着方式よりも製造コストを下げられる。パネル表面がそれほど熱くならない点を生かし、スマホのようなタッチ操作可能な照明パネルの開発も進めている。

か、壁や天井などに設置できる。ホテルや飲食店、ブランドショップなどのデザイン照明として、LED照明との差別化が図れると期待される。昭和電工は2015年ごろの有機EL照明の普及をにらみ、パネルの量産試験の準備を進めている。同社のパネルは一部に光反射の影響が少なく、取り出し効率が40%と高い。東シの照明向けの電子輸送材料は、汎用材料と比べ3〜4割の低駆動電圧が可能。光3原色の再現性を重視するディスプレイでは電子輸送層は発光層の特性に合わせて設計する必要があるが、照明用途ではその必要がないため、東シの材料の強みを生かしやすい。三菱化学とパイオニアは9月に生産コストを従来の製造手法と比べて最大10分の1に低減した有機EL照明のサンプル出荷を始めた。発光層などを基板に塗布して成膜する方式により、蒸着方式よりも製造コストを下げられる。パネル表面がそれほど熱くならない点を生かし、スマホのようなタッチ操作可能な照明パネルの開発も進めている。

未来へワープ。

化学の力で、今日ないものを明日の価値として産み出したい。UBEはオリジナリティに富んだケミカル製品、健康に貢献する新薬、環境にやさしいリサイクルシステムなどを開発してきました。その創造力を支えているのは、創業以来のチャレンジ精神。人々の夢を道しるべに、未来へ向かってどんどん加速しています。

宇部興産株式会社

〒105-8449 東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーバンスN館
TEL: (03) 5419-6110 <http://www.ube.co.jp>

技術の翼
革新の心
Wings of technology
Spirit of innovation
UBE

“素材”なら
世界のブランド、
シンエツ。

信越グループは、化学製品から電子材料、さらには各種機能性材料など、これまでにさまざまな素材を生み出してきました。たとえば、塩化ビニル樹脂や半導体シリコンの生産量は世界最大。また、シリコン、合成石英、セルロース誘導体、レア・アースマグネットなどの製品も世界トップクラスのメーカーとして、お客様のニーズにお応えしています。信越グループは、これからも優れた技術と素材を通じて暮らしや産業、そして社会に貢献していきます。

【信越グループの主な製品】塩化ビニル樹脂、シリコン、セルロース誘導体、合成性フェロモン、合成香料、メタノール、クロロメタン、酸性ソーダ、金属ケイ素、半導体シリコン、電子産業用レア・アースマグネット、フォトレジスト、エポキシモルディングコンパウンド、ジャンクションコーティングレジジン、レア・アース、一般産業用レア・アースマグネット、合成石英、光ファイバーコート材、酸化物単結晶(LT)、超高純度窒化ホウ素(PBN)、高純度有機金属化合物、液状ワックスエラストマー SHIN-ETSU SIFEL、ペリクル、プラント輸出

新たな挑戦へ。

ShinEtsu

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1(朝日生命大手町ビル) 電話 (03) 3246-5091(広報部) <http://www.shinetsu.co.jp> 信越化学工業株式会社